

ごあいさつ

環境問題について、誰もが関心を持つ時代になりました。自己愛からくる一人の無駄使いや行為が、結局は自分たちの住んでいる地球に負荷をかけていることに気づいたのです。言い換えれば「誰もが、他者を思いやる心に気づいた」ということではないでしょうか。物質的な喜びから、心の喜びへと… 人として高次な自我へと進化して行く過程なのかもしれません。

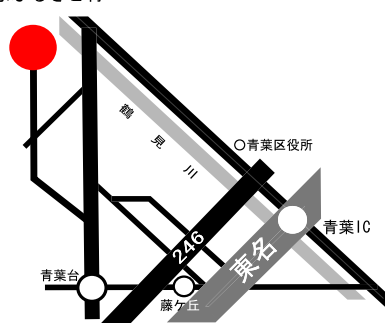
農業問題も同じことが言えます。お金さえ出せば、食べたい物を、食べたい時に、好きなだけ手に入る。そんな時代がいつまでも続くはずがありません。食は生命に直結しています。「食」に関心を持つということは「生命」に関心を持つということに他なりません。「生命を疎かにしてはいけない！」当たり前のことが、そうではない時代になってしまいました。私たちは次世代の子どもたちのためにも、食について真剣に考え、何らかの行動をして行く時が来たのではないのでしょうか。

食の生産現場としての農業を、「生命の学びの場」として、子どもたちや地域の方々と共に、希望に満ちた明るい未来への道しるべと為るべく、2008年NPO法人として新たな活動をスタートいたしました。

当NPOの趣旨にご賛同頂かれる、個人、団体の皆様におきましては、心より、ご入会・ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人  
農に学ぶ環境教育ネットワーク  
理事長 木村広夫

寺家ふるさと村



- 田園都市線青葉台駅・市が尾駅
- 横浜線中山駅
- 小田急柿生駅 ※各駅より「寺家ふるさと村行き」バスあり

NPO法人 農に学ぶ環境教育ネットワーク  
〒227-0031 神奈川県横浜市青葉区寺家町311番地  
TEL/FAX:045-962-5637 info@nounimanabu.net  
www.nounimanabu.net  
Yahoo!ML:http://groups.yahoo.co.jp:80/group/nounimanabu\_net/



2008年 寺家ふるさと村に地域に根ざした環境NPOが設立されました。

すべての生命をいつくしみ、  
思いやりとやさしい気持ちを忘れずにいたい。  
「寺家ふるさと村憲章」より



特定非営利活動法人  
農に学ぶ環境教育ネットワーク

# 農に学ぶ。

土に触れ、農に親しむ暮らしの中に、人は多くの学びに出会います。



日のめぐり、月のめぐり  
農を通して四季に触れる。

太陽の周りを地球が回る。その地球の周りを月が回る。その周期は一定で、一寸の誤差もなく確実に”廻る”。人は調和という完璧なバランスに対し、その”めぐり”を数字で割り切ろうとしました。永遠に割り切れない円周率と同じように…  
太陽暦である”数字の暦”は、システムチックで合理的な生活をもたらし、文化の進歩に大きな貢献をしたのは事実ですが、同時に、時間や数字に追われる生活を強いられる現代人の心と体のバランスを壊してきたのも事実です。日本では古くから、太陽と月の周期を基にした農事暦を使用してきました。自然の中に身を委ね、一年を通して農に携わることで、人も自然の一部であることを実感するでしょう。

■種まきから収穫まで、NPOがサポートします。



農的暮らしの中に漂う  
日本の美意識。”農は美しい”

日本の原風景である農山村に心を惹かれない人はいないでしょう。景観はもとより衣食住に至るまで、その暮らしの中には美が漂っています。先人たちの、ものを無駄にしない工夫や自然に対する謙虚さが現代人に感動を与えるのでしょうか。今話題の”LOHAS”の奥にあるものは、この自然に感謝する心に他なりません。

日本の農、agri-”CULTURE”

から現代の日本人が  
失いかけている美德や  
美意識を学びます。

■「農に学ぶ。」講座

■”AGRIART”教室



”農”を軸に広がる  
21世紀のコミュニケーション。

親子、家族の関係が不安定で希薄な時代。これはすでに個人で解決できる範囲を超えています。社会の問題として行政や学校、地域住民が主体となり取り組む重要課題ではないでしょうか。農を単なる食糧生産の手段という価値観から多面的な価値観へと変わりつつある今日、「生産者と消費者」、「都会と農村」という立場や距離感をなくした地域のコミュニケーションの場として、開かれた農をめざします。

■田園カフェ

■田園ふれあいコンサート

■地域通貨”donguri”

